

学校において予防すべき感染症の種類と出席停止期間の基準等

第一種 出席停止の期間：治癒するまで

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ熱、痘瘡、南米出血熱、ペスト、マールブルグ熱、ラッサ熱、ポリオ、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、特定鳥インフルエンザ

第二種 出席停止の期間：伝染病毎に定められた出席停止の期間の基準のとおり

但し、症状により医師によって伝染のおそれがないと認められた場合はこの限りではない。

病 名	出席停止期間	主な症状	潜伏期間	伝染可能期間
新型コロナウイルス感染症	発症から5日を経過し、且つ症状が軽快した後1日を経過するまで	発熱、頭痛、呼吸器症状など	2～7日	発症前から発症後5～10日
インフルエンザ	発症から5日を経過し、且つ解熱後2日を経過するまで	発熱、頭痛、腰痛、全身倦怠感、鼻づまり、くしゃみ、たん	1～3日	発病後～3・4日
百日咳	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで	始めは軽い咳、のどの発赤が見られる。発病後1週間位かコンコンという咳が出る	1～2週	発病後～28日
麻疹	解熱後3日を経過するまで	発熱、せき、鼻水、めやに、頬の内側に白い斑点コプリック斑ができる。発熱後4日目より皮膚に発疹	9～12日	発疹のでる5日前から出た後4日間
流行性耳下腺炎	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過するまで	37～38℃の発熱、まず片側ついで両側のおごの後ろが大きく腫れて痛む。食欲不振、えん下困難	1～2週	発熱前7日～発熱後9日
風疹（三日はしか）	発疹が消失するまで	発熱、発疹、耳の後ろ、首、わきの下などが腫れる。咳、結膜が充血する。	2～3週	発疹の出る7日前から出た後7日間
水痘（水ぼうそう）	すべての発疹がか皮化するまで	水疱のある発疹が体中に次々と出る。かさぶたとなり先に出たものから治っていく。	2～3週	発疹の出る1日前から出た後の6～7日
咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状が消失した後2日を経過するまで	発熱、のどの痛み、結膜炎、首のリンパ節の腫れ	5～7日	発病後～2・3週
結核	症状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認められるまで	初期は症状はなし。X線で発見されることが多い。疲労感、寝汗、微熱、体重減少、肩こり、咳、たん	1～2ヶ月	
髄膜炎菌性髄膜炎	〃	敗血症、高熱、出血斑、関節炎、頭痛、吐気、項部硬直、意識障害、痙攣	2～4日	

第三種 出席停止期間：病状により学校医その他の医師において、伝染のおそれがないと認められるまで

コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症（感染性胃腸炎、マイコプラズマ感染症、溶連菌感染症等）